

令和7年度 第1回 中央区区政会議
委員から寄せられたご意見・ご質問及び区の回答等

| No. | 発言者 | 意見・質問要旨 | 回答者 | 回答要旨 | 区の考え方、対応方針、コメント等 |
|-----|-----|---------|-----|------|------------------|
| 1 | - | - | - | - | - |

| グループ名 | 小グループでの主な意見交換内容 | 区の考え方、対応方針、コメント等 |
|-------------|--|---|
| にぎわい・環境グループ | <ul style="list-style-type: none"> ・監視員が回るようになった結果、大阪市内の路上駐車が少なくなったので、放置自転車や路上喫煙についても罰則は効果があると思う。 ・未だに路上喫煙をしている人がいたり、報道でもあまり取り上げられておらず、周知が足りていないように思える。 ・環境浄化の取り組みについて、アートや花を用いて、捨てにくい心理が働くような取り組みやストレートな表現で訴えるのも良いと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年10月から放置自転車の撤去保管料が引き上げられ、令和7年4月からミナミで放置自転車の夜間撤去を実施しており、取り組みを進めているところでは。 ・環境局がポスターを作成しており、周知もしているところですので、引き続き周知してまいります。 ・人の心理に訴えかける取り組みは進めるべきだと思っております。また、区としては大阪バス協会と連携してごみの持ち帰りをお願いするなど意識向上に向けて取り組みをしているところであり、引き続き連携して取り組んでまいります。 |
| 防災・安全グループ | <ul style="list-style-type: none"> ・防災対策や町会加入促進に関する広報について、ターゲット層を絞る、広報のタイミング、時期を考え、戦略的に啓発することが有効である。また、防災と町会加入とを一体としたキャッチコピーを示すなどの工夫が必要である。 ・ミナミ地区の外国人対応について、路上喫煙禁止となったが、理解できていない外国人も多い。路地などで喫煙している人もいるので、喫煙所を立地の良いところに設置してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災を切り口とする町会加入促進への取り組みについては、アクションプランにも掲げており、その視点をもって推進することとしています。 ・今後、SNSの活用など、動画による啓発も有効と考えており、防災と関連付けた短い動画の作成について検討を進めます。その他、ご提案いただいたご意見・手法についても検討してまいります。 ・環境局所管の業務であるが、区内の課題として連携して取り組んでまいります。 |
| 子育て・教育グループ | <ul style="list-style-type: none"> ・外国につながる子どもには日本語も教える必要があるため、学力を落とさず日本語も教えることは難しいと思う。 ・外国につながる子どもは、母語も覚えながら日本語を覚えないといけないので、大変だと思う。そういった児童へのサポートはあるのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国につながる子どもの多い学校には外国語指導のサポーターがおり、南小学校には学校に定着するためのプレスクールの拠点もあります。そのため、外国につながる子どもにとっても安心感があると考えております。 ・母語については、家庭では母語を使っていたり、学校では日本語を使っていたり教育方針としているところでは。 |
| 福祉・健康グループ | <ul style="list-style-type: none"> ・中央区地域福祉ビジョン2023～2025(概要版)に「多様な主体の連携・協働による地域活動の推進」という項目があるが、地域行事の運営をする人の高齢化によって運営が難しく、参加する人も段々減っているように感じる。 ・マンションに住んでいる人が多くなっているが、そのような人は交流が難しく、また地域活動にも関心を持ってもらえないことが多いため地域活動が縮小していると思う。 ・中央区地域福祉ビジョン2023～2025(概要版)の「認知症の人を支える取組の推進」について、今まさに支援が必要な方に関する記載はあるが、介護予防の観点も盛り込めるため、その点も盛り込めたら良いと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の担い手不足に関する課題に対しては、学校の活動で小中学生を地域活動の担い手として育成するような長期的な取り組みが重要だと考えております。 ・地域活動に興味を持っていただき、参加してもらうために、防災対策ができることをメリットとして見せて、地域の避難訓練や防災訓練を入り口として参加してもらう手段もあると認識しております。 ・現在ビジョンの改訂時期に入っておりますので、介護予防の観点も盛り込むことも考えてまいります。 |